

良識ある保守主義・情報公開

支持政党なしの方々の代表(前町田市議)

吉田つとむ

<発行人 吉田つとむ>

支持政党なし TOKYO

〒194-0011 町田市

成瀬が丘 1-14-12

サンホワイト E103-13

自宅 042-795-7361

FAX 042-795-2726

yoshidaben@gmail.com



インターンシップが好評
若者育成が目標

プラ分別進まず、一部地区実施の町田市

国は、地方自治体にプラスチックごみの分別回収を求め、「容器包装プラ」に限らず、容器類外のプラスチック製品までを対象に加える法律を定め、令和4年4月に施行させます。

ただし、町田市はその容器包装プラスチックの分別資源化すらなかなか進まない段階です。町田市民の中で分別処理を実施するエリアは、横浜線以南の地域（一般に、南地区と呼ばれる）のみという変則的施策が続いています。それぞれの地域に居住していると何もわからないことですが、町田市の大半の地域は、「廃プラの資源化」に関して、全国では極めて遅れた状態が続いています。本来、市内3カ所にその施設を造る計画が、他の2カ所では一向に進まず、行政の怠慢が顕著になっています。



容器包装プラの分別を行う南地区を見学

私は以前に議会で何度も、廃プラの分別に関して質問を重ねたのですが、場所の選定が進んだことを聞くばかりで、設置の具体化は何度も先延ばしとされており、この地域間の不公平な扱いを解消させることが市政の課題だと思っています。

中学校給食の給食センター化は全員給食

市議会で大半の議員が、中学校給食の選択式業者配達弁当を止め、給食センターの給食を食べる方法に切り替えるべきだとし、ようやく、行政は生徒全員に給食を提供できる給食センター方式に切り替えることに方針転換をしました。これからは市長が、自分がやったことと宣伝するプロセスに入ります。

今後の議会の役割は、中学校給食が給食センター方式に変わって、生徒さんから「美味しくなった」、「温かい給食になった」「給食がすぐに食べられるようになり、昼休みが十分に取れる」と評価されるように改善を行政に図らせるべくその研究、提案をすることです。

そのほか、全員給食にすることでアレルギーを持つ児童対応のメニューも導入することが欠かせないと思っています。以前に、視察した八戸市教育委員会は、センター方式（2カ所）で温かい給食を用意し、それを学校校舎の各フロアまで運んでいました。アレルギー対応給食も、別途、調理・区分けして配送していました。学ぶ点が多くあった八戸市の施設でした。（下の写真）



学校給食センターの調理場を窓越しに見る

★「支持政党なし TOKYO」は、支持政党を持たない、持ちたくない人の意見を代弁します。

★「良識ある保守主義」は、既存の社会体制を前提に法治主義による秩序を重視し、柔軟い思考にもとづいて議論をする立場です。

●吉田つとむは都議選に挑戦し6位落選(15543票)市議会で過去3期連続トップ当選

若い世代の育成に全力をささげる
支持政党なしの方々の代表(前町田市議)

吉田つとむ



ブログ 個人HP

メールは
左記を読込
して送信



インターン生募集中
社会見学・体験勉強

インターン体験記② 泉 いずみ

渋谷 bunkamura ザ・ミュージアムの『ポーラ美術館コレクション展』に行きました。モネやルノワールなどフランスで活躍した絵画が展示されています。「甘美なるフランス」という美しく穏やかなフランスとその文化を賛美するための表現があります。その言葉通り、色鮮やかで優しく包み込むような油絵たちに癒されました。

『睡蓮』で有名なモネですが、睡蓮は200点以上のシリーズ作品だということに驚きました。何度も同じモチーフを描いたということに執念を感じました。後世に残るような作品をとして印象に残った作品は点描画です。点描画は絵の具が混ぜ合わせていくことで色が濁り、明るさが減少してしまいます。絵の具を混ぜずに無数の小さなドットを重ねることで光を表現する「色彩分割」という技法でした。独特なタッチで遠くから眺めても近くからじっくり鑑賞しても飽きずに楽しむことができ、明るく色鮮やかで気持ちまで軽やかに弾みました。

感性のみで描くのではなく、巨匠たちは日々研究し様々な技法を試していました。才能の一言だけでは片付けられません。

進学試験まで残り僅かですが、吉田さんのもとで学んで受験に活かしていきたいです。



第48期研修生 泉いずみ(多摩美術大新卒)

インターン体験記③ 泉 いずみ

吉田つとむさんが構成メンバーの一人でもある清溪セミナーに参加しました。清溪セミナーは神宮外苑の日本青年館で行われていて「政経セミナー」という意味合いもあり、議員とそれを目指す人や地方政治に関心がある人が集い討論できる場となっていました。



まず始めに私が驚いたのは、講演に登壇している人の熱量です。資料に頼らず私たちの目を見て話して頂けました。自分たちの言葉で勝負しているということが真摯に伝わってきました。しかし内容としては、地方自治や政策活動報告を話されていて、少し難しく感じましたが、普段自分の住んでいる地域の政策にしか興味が持てなかった私にとって、他の地域の政策に興味を持てたことは青溪セミナーに参加してよい点でした。

関心を持ったのは、大阪府茨木市のまちづくり総合計画についてです。総合計画は、茨木市をどのような「まち」にしていくのか、そのためにどんなことをしていくのかをまとめたものです。茨木市のロゴは大学生が発案して投票で決められたもので、大阪北部地震後にキャッチコピーを追加したり、コロナによる緊急事態宣言に合わせてデザインを変更するなどの活動報告を受けました。

第48期研修生:泉 いずみ(多摩美術大新卒)

- ★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、多数の体験者が実社会で活躍中。
- ★ インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

◎このレポートは、吉田つとむが市議会議員の時から継続して発行するものです。